

2018年11月5日

各 位

会 社 名 新興プランテック株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 吉川 善治  
 (コード番号 6379 東証第1部)  
 問 合 せ 先 取締役常務執行役員  
 福久 正毅 (TEL 045-758-1950)

## 2019年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2018年5月9日に公表した2019年3月期第2四半期累計期間(2018年4月1日~2018年9月30日)の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

あわせて、2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)の通期の業績予想について、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2019年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異(2018年4月1日~2018年9月30日)

##### (1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	47,000	2,600	2,700	1,700	36.77
実績値 (B)	43,789	3,588	3,706	2,449	52.98
増減額 (B - A)	△3,210	988	1,006	749	
増減率 (%)	△6.8	38.0	37.3	44.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	45,067	3,527	3,698	2,470	53.43

##### (2) 個別

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	44,000	2,500	1,600	34.61
実績値 (B)	40,605	3,301	2,273	49.17
増減額 (B - A)	△3,394	801	673	
増減率 (%)	△7.7	32.0	42.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	41,797	3,171	2,216	47.94

2. 2019年3月期通期業績予想の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	95,000	5,500	5,700	3,600	77.88
今回修正予想 (B)	97,000	7,000	7,300	4,800	103.84
増減額 (B - A)	2,000	1,500	1,600	1,200	
増減率 (%)	2.1	27.3	28.1	33.3	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	89,611	6,375	6,634	4,452	96.31

(2) 個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	89,000	5,300	3,400	73.55
今回修正予想 (B)	90,500	6,700	4,550	98.43
増減額 (B - A)	1,500	1,400	1,150	
増減率 (%)	1.7	26.4	33.8	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	83,319	5,948	4,443	96.12

3. 差異および修正の理由

当第2四半期累計期間においては、受注高は当初の想定を上回り好調に推移したものの、完成工事高は、第2四半期累計期間に完工を見込んでいた案件が第3四半期以降の完工となったことにより、前回発表予想値を下回りました。損益面では、当初、定期修理工事の集中による人手不足や労務単価の上昇圧力の影響等により、厳しい環境を予想しておりましたが、材料価格や人件費、外注加工費の上昇要因に対し、直接工事費の原価低減、経費の継続的削減などにより収益の確保に努めた結果、各利益において前回発表予想値を上回りました。

また、通期業績予想につきましては、受注高が好調に推移したことによる完成工事高の増加や継続的な原価低減による収益への貢献などにより、連結、個別業績とも前回発表予想を上回る見込みです。

(注) 今回の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上